



中 川 市
立 荒 川 中 学 校

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」
目指す生徒像 「あいさつ・がまん・あとしまつ」のできる生徒

村上市立荒川中学校
令和4年度第1号
令和4年4月14日発行

命の尊さを実感しながらのスタート

校長 渡辺 安治

校庭の桜も咲き始め、希望に満ちた春となりました。令和四年度がスタートし、伝統となった新入生歓迎ボランティア活動が行われました。三階にある新入生の教室まで教科書を運搬したり、黒板や廊下の清掃・飾り付けなど、在校生は一生懸命に動いてくれました。八名の新しい職員を迎えた新任式では、代表生徒から着任した先生方と早く仲良くなり、多くのことを学びたいと歓迎の言葉がありました。始業式では、学年の代表から新学期の抱負として「進路の目標に向け勉強に力を入れる」、「上級生として一年生の手本となる」という決意が力強く述べられました。前向きな生徒の姿から、私たちも生徒共に頑張ろうと決意を新たにしました。

四月七日には新入生六十五名の入学式が行われました。式辞の中で「あいさつ・がまん・あとしまつ」を心掛けてほしいこと、それと関連して三つ話しました。一つは自他の命と健康・安全を大切にしました。生活です。コロナ感染症対策を引き続き徹底し、お互いに思いやりをもって温かい雰囲気です。学校生活を送ってほしいです。二つ目は、夢の実現や目標達成のために、勉強に力を入れることです。授業を真剣に受け、家庭学習も集中して行うことで、社会に貢献する考える力も付く

ように期待しています。三つ目は、悩みや心配事は遠慮しないで相談してほしいことです。中学生の頃は思春期で、悩みや不安を感じやすいものです。困ったときは早めに先生や大人に相談して、悩みや不安を解消して前向きに生活してほしいと願っています。先生方も相談には、親身になつて対応します。希望に満ちた新年度のスタートですが、最近には特に命の尊さを深く感じます。連日、紛争により人々の大切な命が奪われていると新聞やテレビなどで報じられています。そのたびに言葉を失うほど、強い衝撃を受け、心が痛みます。多くの国々の代表が解決に向けて綿密に打ち合わせていますので、祈るような気持ちで見守っています。コロナ感染症も未だに収まりません。今年度は今まで以上に、命の尊さをより実感するスタートとなりました。

入学式では感染症対策として、国歌・校歌を歌わずに時間を短縮しました。生徒たちに期待して下さる地域の方々をお迎えできず、残念でなりません。学校生活において「生徒と共に私たちができること」を明るく前向きに楽しく取り組みます。地域や保護者の皆様のお力をお借りしながら進めて参ります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

